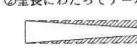


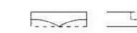
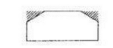

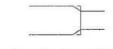


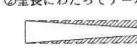


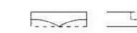
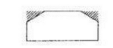

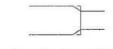


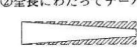





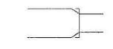


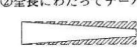





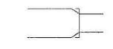


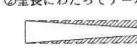


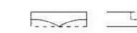
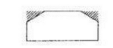

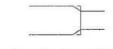


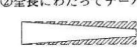





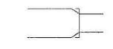




令和4年度 土木工事標準積算基準書 現行改定対照表

掲載頁	現行基準(令和4年10月1日)	改定(令和5年4月1日)	備考
I-2-②-28	<p>2-3 準備費</p> <p>(1) 準備費の積算 準備費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 準備及び後片付けに要する費用</p> <p>イ 着手時の準備費用</p> <p>ロ 施工期間中における準備、後片付け費用</p> <p>ハ 完成時の後片付け費用</p> <p>2) 調査・測量、丁張等に要する費用</p> <p>イ 工事着手前の基準測量等の費用</p> <p>ロ 縦、横断面図の照査等の費用</p> <p>ハ 用地幅杭等の仮移設等の費用</p> <p>ニ 丁張の設置等の費用</p> <p>3) 準備として行う以下に要する費用</p> <p>イ ブルドーザ、レーキドーザ、バックホウ等による雑木や小さな樹木、竹等を除去する伐開に要する費用 (樹木をチェーンソー等により切り倒す伐採作業は含まない。)</p> <p>ロ 除根、除草、整地、段切り、すりつけ等に要する費用 なお、伐開、除根及び除草は、現場内の集積・積込作業を含む。(伐採作業に伴う現場内の集積・積込作業は含まない。)</p> <p>4) 1) から3) に掲げるもののほか、伐開、除根、除草等に伴い発生する建設副産物等を工事現場外に搬出する費用、及び当該建設副産物等の処理費用等、工事の施工上必要な準備に要する費用。</p> <p>5) 概算数量発注要領に基づく図面作成費</p> <p>6) 準備に伴い発生する交通誘導警備員の費用については、直接工事費に積上げ計上する。</p> <p>(2) 積算方法</p> <p>1) 準備費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の1)、2)、3)とし、積上げ計上する項目は前記(1)の4)、5)に要する費用とし、現場条件を的確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>2) 概算数量発注要領に基づく図面作成費単価は、24,132円/枚とする。</p>	<p>2-3 準備費</p> <p>(1) 準備費の積算 準備費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 準備及び後片付けに要する費用</p> <p>イ 着手時の準備費用</p> <p>ロ 施工期間中における準備、後片付け費用</p> <p>ハ 完成時の後片付け費用</p> <p>2) 調査・測量、丁張等に要する費用</p> <p>イ 工事着手前の基準測量等の費用</p> <p>ロ 縦、横断面図の照査等の費用</p> <p>ハ 用地幅杭等の仮移設等の費用</p> <p>ニ 丁張の設置等の費用</p> <p>3) 準備として行う以下に要する費用</p> <p>イ ブルドーザ、レーキドーザ、バックホウ等による雑木や小さな樹木、竹等を除去する伐開に要する費用 (樹木をチェーンソー等により切り倒す伐採作業は含まない。)</p> <p>ロ 除根、除草、整地、段切り、すりつけ等に要する費用 なお、伐開、除根及び除草は、現場内の集積・積込作業を含む。(伐採作業に伴う現場内の集積・積込作業は含まない。)</p> <p>4) 1) から3) に掲げるもののほか、伐開、除根、除草等に伴い発生する建設副産物等を工事現場外に搬出する費用、及び当該建設副産物等の処理費用等、工事の施工上必要な準備に要する費用。</p> <p>5) 概算数量発注要領に基づく図面作成費</p> <p>6) 準備に伴い発生する交通誘導警備員の費用については、直接工事費に積上げ計上する。</p> <p>(2) 積算方法</p> <p>1) 準備費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の1)、2)、3)とし、積上げ計上する項目は前記(1)の4)、5)に要する費用とし、現場条件を的確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>2) 概算数量発注要領に基づく図面作成費単価は、26,261円/枚とする。</p>	

掲載頁	現行基準(令和4年10月1日)	改定(令和5年4月1日)	備考																				
<p>II-2-⑩-48</p>	<p>5-3 諸雑費</p> <p>諸雑費は、足場材(敷鉄板(中層混合処理機用・スラリープラント用))の賃料及び設置・撤去・移設に要する費用(バックホウ運転費用)、攪拌混合装置の損耗材料費(チェーン、攪拌翼、切削刃、ガイドローラ、スプロケット、アイドラーの各部品費)、空気圧縮機の賃料及び運転経費、電力に関する経費等の費用及び改良後の整地に要する費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 諸雑費率(%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>改良深度L (m)</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 m < L ≤ 5 m</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>5 m < L ≤ 8 m</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>8 m < L ≤ 10 m</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>10 m < L ≤ 13 m</td> <td>2.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-4 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 次の条件等により攪拌翼が貫入出来ない場合は、バックホウによる先掘りを行うものとし、「第II編第1章②土1」による。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 表層に転石等が多い地盤 2) 表層に障害物等のある地盤 (2) 中層混合処理工は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は別途計上する。 (3) 中層混合処理機の分解・組立及び輸送については、「第I編第2章②間接工事費2-2 運搬費(5) 重建設機械分解・組立」を適用する。 (4) スラリープラントを中心に半径約200mを超える場合、揚程が5mを超える場合、又は同一現場内に施工箇所が2箇所以上あり、スラリープラントを移設しなければならない場合は、「第II編第2章⑩ 軟弱地盤処理I」⑩-3「スラリー攪拌I」の「5-4 スラリープラント現場内移設歩掛」を適用する。 (5) 汚泥土の処分が必要な場合は、別途計上する。 (6) 注入材配合用水、機器洗浄等に用いる上水道等必要な場合は、別途計上する。 <p style="text-align: center;">II-2-⑩-48</p>	改良深度L (m)	諸雑費率	2 m < L ≤ 5 m	3.2	5 m < L ≤ 8 m	2.3	8 m < L ≤ 10 m	2.4	10 m < L ≤ 13 m	2.4	<p>5-3 諸雑費</p> <p>諸雑費は、足場材(敷鉄板(中層混合処理機用・スラリープラント用))の賃料及び設置・撤去・移設に要する費用(バックホウ運転費用)、攪拌混合装置の損耗材料費(チェーン、攪拌翼、切削刃、ガイドローラ、スプロケット、アイドラーの各部品費)、空気圧縮機の賃料及び運転経費、電力に関する経費等の費用及び改良後の整地に要する費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 諸雑費率(%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>改良深度L (m)</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 m < L ≤ 5 m</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>5 m < L ≤ 8 m</td> <td style="color: red;">2.4</td> </tr> <tr> <td>8 m < L ≤ 10 m</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>10 m < L ≤ 13 m</td> <td>2.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-4 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 次の条件等により攪拌翼が貫入出来ない場合は、バックホウによる先掘りを行うものとし、「第II編第1章②土1」による。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 表層に転石等が多い地盤 2) 表層に障害物等のある地盤 (2) 中層混合処理工は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は別途計上する。 (3) 中層混合処理機の分解・組立及び輸送については、「第I編第2章②間接工事費2-2 運搬費(5) 重建設機械分解・組立」を適用する。 (4) スラリープラントを中心に半径約200mを超える場合、揚程が5mを超える場合、又は同一現場内に施工箇所が2箇所以上あり、スラリープラントを移設しなければならない場合は、「第II編第2章⑩ 軟弱地盤処理I」⑩-3「スラリー攪拌I」の「5-4 スラリープラント現場内移設歩掛」を適用する。 (5) 汚泥土の処分が必要な場合は、別途計上する。 (6) 注入材配合用水、機器洗浄等に用いる上水道等必要な場合は、別途計上する。 <p style="text-align: center;">II-2-⑩-48</p>	改良深度L (m)	諸雑費率	2 m < L ≤ 5 m	3.2	5 m < L ≤ 8 m	2.4	8 m < L ≤ 10 m	2.4	10 m < L ≤ 13 m	2.4	
改良深度L (m)	諸雑費率																						
2 m < L ≤ 5 m	3.2																						
5 m < L ≤ 8 m	2.3																						
8 m < L ≤ 10 m	2.4																						
10 m < L ≤ 13 m	2.4																						
改良深度L (m)	諸雑費率																						
2 m < L ≤ 5 m	3.2																						
5 m < L ≤ 8 m	2.4																						
8 m < L ≤ 10 m	2.4																						
10 m < L ≤ 13 m	2.4																						

掲載頁	現行基準(令和4年10月1日)	改定(令和5年4月1日)	備考				
IV-7-①-4	<p>2-8 溶接材料及び副資材費</p> <p>(1) 溶接材料費 標準的な寸法・構造諸元の橋梁の場合、溶接材料の質量をあげて計上せず、副資材費に含めて積算してよい。</p> <p>(2) 副資材費 副資材費は、工場製作にかかる溶接材料及び消耗材料で、加工鋼重(購入部品を除いた鋼材の質量)当り溶接材料込みで16,400円/tとする。</p> <p>(注)1. 鉚桁以外の加工鋼重は、大型材片質量及び小型材片質量の合計となる。 2. 単純鉚桁及び連続鉚桁の場合の加工鋼重は、大型材片質量・小型材片質量及び対斜傾構・横構の加工鋼重の合計となる。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>ネットで計算するもの</p> <p>①台形部材 ②全長にわたってテーパのついた部材</p>  <p>③伸縮継手の梯形部</p>  <p>④ラーメン形又はフレーム形の対傾構の穴</p>  <p>⑤桁高の変化するもの(連続桁、ゲルバー桁)</p>  </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>グロスで計算するもの</p> <p>①ガセットプレート</p>  <p>②板厚変化のテーパ(Web, Flange等)</p>  <p>③板幅変化のテーパ</p>  <p>④スチフナーの切欠</p>  <p>⑤トラス、ローゼの吊材の穴</p>  </td> </tr> </table> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">S 3 5 1 0</p> <p>3. 鋼橋製作費</p> <p>3-1 製作工数</p> <p>(1) 橋梁の製作工数は次式により算出するのを原則とする。</p> <p>1) 全体製作工数(Y)</p> $Y = \{(Y_1 + Y_2) \times K + Y_3 + Y_4\} \times (1 + \alpha) \times (1 + \beta) \times (1 + \gamma) \times (1 + \delta) + Y_5$ <p>Y₁, Y₂, Y₃, Y₄, Y₅: 各工数要素 α: 重連による補正率(表3.8) β: 斜橋又は曲線橋による補正(表3.9又は表3.10) ただし、斜橋と曲線橋の補正の重加算は行わず、いずれか大きい補正率を採用する。 γ: 桁高変化による補正率(表3.11) δ: 平均支間長による工数の補正率(表3.12) K: 570材相当品による影響割増</p> <p>(注) 製作工数は小数以下2位止め(3位四捨五入)とする。 なお、各工数要素(Y₁, Y₂, Y₃, Y₄, Y₅)についても同様の扱いとする。</p> <p>2) 本体の加工組立工数(Y₁)</p> $Y_1 = A_1 \times a_1 \times K_1 + A_2 \times a_2 \times K_2$ <p>A₁: 大型材片数 A₂: 小型材片数 a₁: 大型1材片当りの橋梁形式による標準工数(表3.1) a₂: 小型1材片当りの橋梁形式による標準工数(表3.1) K₁: 大型1材片当りの重量による影響係数(表3.2)</p>	<p>ネットで計算するもの</p> <p>①台形部材 ②全長にわたってテーパのついた部材</p>  <p>③伸縮継手の梯形部</p>  <p>④ラーメン形又はフレーム形の対傾構の穴</p>  <p>⑤桁高の変化するもの(連続桁、ゲルバー桁)</p> 	<p>グロスで計算するもの</p> <p>①ガセットプレート</p>  <p>②板厚変化のテーパ(Web, Flange等)</p>  <p>③板幅変化のテーパ</p>  <p>④スチフナーの切欠</p>  <p>⑤トラス、ローゼの吊材の穴</p> 	<p>2-8 溶接材料及び副資材費</p> <p>(1) 溶接材料費 標準的な寸法・構造諸元の橋梁の場合、溶接材料の質量をあげて計上せず、副資材費に含めて積算してよい。</p> <p>(2) 副資材費 副資材費は、工場製作にかかる溶接材料及び消耗材料で、加工鋼重(購入部品を除いた鋼材の質量)当り溶接材料込みで17,300円/tとする。</p> <p>(注)1. 鉚桁以外の加工鋼重は、大型材片質量及び小型材片質量の合計となる。 2. 単純鉚桁及び連続鉚桁の場合の加工鋼重は、大型材片質量・小型材片質量及び対斜傾構・横構の加工鋼重の合計となる。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>ネットで計算するもの</p> <p>①台形部材 ②全長にわたってテーパのついた部材</p>  <p>③伸縮継手の梯形部</p>  <p>④ラーメン形又はフレーム形の対傾構の穴</p>  <p>⑤桁高の変化するもの(連続桁、ゲルバー桁)</p>  </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>グロスで計算するもの</p> <p>①ガセットプレート</p>  <p>②板厚変化のテーパ(Web, Flange等)</p>  <p>③板幅変化のテーパ</p>  <p>④スチフナーの切欠</p>  <p>⑤トラス、ローゼの吊材の穴</p>  </td> </tr> </table> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">S 3 5 1 0</p> <p>3. 鋼橋製作費</p> <p>3-1 製作工数</p> <p>(1) 橋梁の製作工数は次式により算出するのを原則とする。</p> <p>1) 全体製作工数(Y)</p> $Y = \{(Y_1 + Y_2) \times K + Y_3 + Y_4\} \times (1 + \alpha) \times (1 + \beta) \times (1 + \gamma) \times (1 + \delta) + Y_5$ <p>Y₁, Y₂, Y₃, Y₄, Y₅: 各工数要素 α: 重連による補正率(表3.8) β: 斜橋又は曲線橋による補正(表3.9又は表3.10) ただし、斜橋と曲線橋の補正の重加算は行わず、いずれか大きい補正率を採用する。 γ: 桁高変化による補正率(表3.11) δ: 平均支間長による工数の補正率(表3.12) K: 570材相当品による影響割増</p> <p>(注) 製作工数は小数以下2位止め(3位四捨五入)とする。 なお、各工数要素(Y₁, Y₂, Y₃, Y₄, Y₅)についても同様の扱いとする。</p> <p>2) 本体の加工組立工数(Y₁)</p> $Y_1 = A_1 \times a_1 \times K_1 + A_2 \times a_2 \times K_2$ <p>A₁: 大型材片数 A₂: 小型材片数 a₁: 大型1材片当りの橋梁形式による標準工数(表3.1) a₂: 小型1材片当りの橋梁形式による標準工数(表3.1) K₁: 大型1材片当りの重量による影響係数(表3.2)</p>	<p>ネットで計算するもの</p> <p>①台形部材 ②全長にわたってテーパのついた部材</p>  <p>③伸縮継手の梯形部</p>  <p>④ラーメン形又はフレーム形の対傾構の穴</p>  <p>⑤桁高の変化するもの(連続桁、ゲルバー桁)</p> 	<p>グロスで計算するもの</p> <p>①ガセットプレート</p>  <p>②板厚変化のテーパ(Web, Flange等)</p>  <p>③板幅変化のテーパ</p>  <p>④スチフナーの切欠</p>  <p>⑤トラス、ローゼの吊材の穴</p> 	
<p>ネットで計算するもの</p> <p>①台形部材 ②全長にわたってテーパのついた部材</p>  <p>③伸縮継手の梯形部</p>  <p>④ラーメン形又はフレーム形の対傾構の穴</p>  <p>⑤桁高の変化するもの(連続桁、ゲルバー桁)</p> 	<p>グロスで計算するもの</p> <p>①ガセットプレート</p>  <p>②板厚変化のテーパ(Web, Flange等)</p>  <p>③板幅変化のテーパ</p>  <p>④スチフナーの切欠</p>  <p>⑤トラス、ローゼの吊材の穴</p> 						
<p>ネットで計算するもの</p> <p>①台形部材 ②全長にわたってテーパのついた部材</p>  <p>③伸縮継手の梯形部</p>  <p>④ラーメン形又はフレーム形の対傾構の穴</p>  <p>⑤桁高の変化するもの(連続桁、ゲルバー桁)</p> 	<p>グロスで計算するもの</p> <p>①ガセットプレート</p>  <p>②板厚変化のテーパ(Web, Flange等)</p>  <p>③板幅変化のテーパ</p>  <p>④スチフナーの切欠</p>  <p>⑤トラス、ローゼの吊材の穴</p> 						

参Ⅱ-29

第6章 地すべり対策事業調査・設計業務

1 調査業務

(1) 地表踏査

地すべり地について、地形、地質、水門、活動現況及び履歴等の現地調査を行い、地すべり現況を明らかにすると共に調査計画等の概要を調査する。

ア 踏査【設計】 単位:10ha

種別	細別	単位	数量	摘要	
直接人件費	主任技師	人	0.50	踏査総括	
	技師B	人	2.00		
	技師C	人	2.00		
直接経費 その他	普通作業員	人	2.00	調査補助	
	消耗品費	式	1.00		上記直接人件費の1%
	材料費	式	1.00		
	機械器具費	式	1.00		

日当たり作業量 5.0 ha
※「土木設計業務等積算基準」による。

イ 解析・報文【設計】

単位:10ha

種別	細別	単位	数量	摘要	
直接人件費	技師長	人	0.65	総括	
	主任技師	人	0.65		
	技師B	人	2.60		
	技師C	人	2.60		
	技師C	人	2.60		
直接経費 その他	製図工(測量助手)	人	1.00	成果品作成	
	消耗品費	式	1.00		上記直接人件費の1%
	材料費	式	1.00		
	機械器具費	式	1.00		

※「土木設計業務等積算基準」による。

(2) 地下水調査

ボーリング孔等を使用し、地下水位の変動を調査して水位変動図を作成する。

ア 水圧式水位計

(ア) 水圧式水位計(設置):参考【地質調査】 単位:1基(設置深度30m)

種別	細別	単位	数量	摘要
直接調査費 人件費	地質調査技師	人	0.10	技術管理
	地質調査員	人	0.50	
	普通作業員	人	1.00	
材料費	雑品	式	1.00	必要なものを計上
	雑品	式	1.00	

日当たり作業量 2.0 基

※「地質調査積算基準」による。

(イ) 水圧式水位計(観測):参考【地質調査】 単位:1回、1基

種別	細別	単位	数量	摘要
直接調査費 人件費	地質調査技師	人	0.01	観測指導
	地質調査員	人	0.10	
材料費	雑品	式	1.00	上記直接人件費の1%
	雑品	式	1.00	
機械損料	水位計損料	基・日	1.00	水圧式
	水位計損料	基・日	1.00	

日当たり作業量 10.0 基

※「地質調査積算基準」による。

※ 機械損料=(観測全期間+搬入・搬出期間)×日当たり基数×日当損料

観測期間は実状に応じる。

次の観測地までの移動時間を含む。

第6章 地すべり対策事業調査・設計業務

1 調査業務

(1) 地表踏査

地すべり地について、地形、地質、水門、活動現況及び履歴等の現地調査を行い、地すべり現況を明らかにすると共に調査計画等の概要を調査する。

ア 踏査【設計】 単位:10ha

種別	細別	単位	数量	摘要	
直接人件費	主任技師	人	0.50	踏査総括	
	技師B	人	2.00		
	技師C	人	2.00		
直接経費 その他	普通作業員	人	2.00	調査補助	
	消耗品費	式	1.00		上記直接人件費の1%
	材料費	式	1.00		
	機械器具費	式	1.00		

日当たり作業量 5.0 ha
※「土木設計業務等積算基準」による。

イ 解析・報文【設計】

単位:10ha

種別	細別	単位	数量	摘要	
直接人件費	技師長	人	0.65	総括	
	主任技師	人	0.65		
	技師B	人	2.60		
	技師C	人	2.60		
	技師C	人	2.60		
直接経費 その他	製図工(測量助手)	人	1.00	成果品作成	
	消耗品費	式	1.00		上記直接人件費の1%
	材料費	式	1.00		
	機械器具費	式	1.00		

※「土木設計業務等積算基準」による。

(2) 地下水調査

ボーリング孔等を使用し、地下水位の変動を調査して水位変動図を作成する。

ア 水圧式水位計

第2編 地質調査業務 第5節 地すべり調査による。

掲載頁	現行基準(令和4年10月1日)	改定(令和5年4月1日)	備考																																																																																																																																																																																						
<p>参Ⅱ-30</p>	<p>(ウ) 水圧式水位計(資料整理)【地質調査】 単位:1孔,1ヶ月 水位変動図を作成し、降雨量との比較等簡易な考察を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>細別</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">直接調査費</td> <td>人件費</td> <td>人</td> <td>0.10</td> <td>変動判定</td> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td>人</td> <td>0.80</td> <td>作図,成果品作成</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td>上記直接人件費の1%</td> </tr> <tr> <td>材料費</td> <td>消耗品費</td> <td>式</td> <td>1.00</td> <td>上記直接人件費の1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「地質調査積算基準」による。</p> <p>イ 触針式水位計 (ア) 触針式水位計(観測)【地質調査】 単位:1回,1基</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>細別</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">直接調査費</td> <td>人件費</td> <td>人</td> <td>0.01</td> <td>観測指導</td> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td>人</td> <td>0.05</td> <td>観測</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td>上記直接人件費の1%</td> </tr> <tr> <td>材料費</td> <td>雑品</td> <td>式</td> <td>1.00</td> <td>上記直接人件費の1%</td> </tr> <tr> <td>機械損料</td> <td>水位計損料</td> <td>日</td> <td>0.05</td> <td>触針式</td> </tr> </tbody> </table> <p>日当たり作業量 20.0 基 ※「地質調査積算基準」による。 ※ 機械損料=(観測全期間+搬入・搬出期間)×日当たり基数×日当損料 次の観測地までの移動時間を含む。</p> <p>(イ) 触針式水位計(資料整理)【地質調査】 単位:1孔,1ヶ月 水位変動図を作成し、降雨量との比較等簡易な考察を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>細別</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">直接調査費</td> <td>人件費</td> <td>人</td> <td>0.10</td> <td>変動判定</td> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td>人</td> <td>0.80</td> <td>作図,成果品作成</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td>上記直接人件費の1%</td> </tr> <tr> <td>材料費</td> <td>消耗品費</td> <td>式</td> <td>1.00</td> <td>上記直接人件費の1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「地質調査積算基準」による。</p> <p>ウ 既設ボーリング孔グラウト工 (ア) 逸水防止剤注入【地質調査】 単位:1m すべり面より下に地下水位が位置する場合、すべり面より上までセメントミルクにてグラウトを実施し、地下水位の復元を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>細別</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">直接調査費</td> <td>人件費</td> <td>人</td> <td>0.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>人</td> <td>0.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>人</td> <td>0.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料費</td> <td>雑材料費</td> <td>式</td> <td>1.00</td> <td>セメント他の費用で上記直接人件費の10%(径66mm),20%(径86mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>日当たり作業量 14.3 m ※「地質調査積算基準」による。</p> <p>(イ) 対策後確認調査【地質調査】 単位:1孔 逸水防止剤注入後、逸水の確認を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>細別</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">直接調査費</td> <td>人件費</td> <td>人</td> <td>0.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>人</td> <td>0.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>人</td> <td>0.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料費</td> <td>雑材料費</td> <td>式</td> <td>1.00</td> <td>セメント他の費用で上記直接人件費の20%(径66mm),25%(径86mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>日当たり作業量 3.0 孔 ※「地質調査積算基準」による。</p>	種別	細別	単位	数量	摘要	直接調査費	人件費	人	0.10	変動判定	地質調査技師	人	0.80	作図,成果品作成	地質調査員	人	1.00	上記直接人件費の1%	材料費	消耗品費	式	1.00	上記直接人件費の1%	種別	細別	単位	数量	摘要	直接調査費	人件費	人	0.01	観測指導	地質調査技師	人	0.05	観測	地質調査員	人	1.00	上記直接人件費の1%	材料費	雑品	式	1.00	上記直接人件費の1%	機械損料	水位計損料	日	0.05	触針式	種別	細別	単位	数量	摘要	直接調査費	人件費	人	0.10	変動判定	地質調査技師	人	0.80	作図,成果品作成	地質調査員	人	1.00	上記直接人件費の1%	材料費	消耗品費	式	1.00	上記直接人件費の1%	種別	細別	単位	数量	摘要	直接調査費	人件費	人	0.07		主任地質調査員	人	0.07		地質調査員	人	0.07		普通作業員	人	0.07		材料費	雑材料費	式	1.00	セメント他の費用で上記直接人件費の10%(径66mm),20%(径86mm)	種別	細別	単位	数量	摘要	直接調査費	人件費	人	0.30		主任地質調査員	人	0.30		地質調査員	人	0.30		普通作業員	人	0.30		材料費	雑材料費	式	1.00	セメント他の費用で上記直接人件費の20%(径66mm),25%(径86mm)	<p>イ 触針式水位計 第2編 地質調査業務 第5節 地すべり調査による。</p> <p>ウ 既設ボーリング孔グラウト工 (ア) 逸水防止剤注入【地質調査】 単位:1m すべり面より下に地下水位が位置する場合、すべり面より上までセメントミルクにてグラウトを実施し、地下水位の復元を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>細別</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">直接調査費</td> <td>人件費</td> <td>人</td> <td>0.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>人</td> <td>0.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>人</td> <td>0.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料費</td> <td>雑材料費</td> <td>式</td> <td>1.00</td> <td>セメント他の費用で上記直接人件費の10%(径66mm),20%(径86mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>日当たり作業量 14.3 m ※「地質調査積算基準」による。</p> <p>(イ) 対策後確認調査【地質調査】 単位:1孔 逸水防止剤注入後、逸水の確認を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>細別</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">直接調査費</td> <td>人件費</td> <td>人</td> <td>0.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>人</td> <td>0.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>人</td> <td>0.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料費</td> <td>雑材料費</td> <td>式</td> <td>1.00</td> <td>セメント他の費用で上記直接人件費の20%(径66mm),25%(径86mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>日当たり作業量 3.0 孔 ※「地質調査積算基準」による。</p>	種別	細別	単位	数量	摘要	直接調査費	人件費	人	0.07		主任地質調査員	人	0.07		地質調査員	人	0.07		普通作業員	人	0.07		材料費	雑材料費	式	1.00	セメント他の費用で上記直接人件費の10%(径66mm),20%(径86mm)	種別	細別	単位	数量	摘要	直接調査費	人件費	人	0.30		主任地質調査員	人	0.30		地質調査員	人	0.30		普通作業員	人	0.30		材料費	雑材料費	式	1.00	セメント他の費用で上記直接人件費の20%(径66mm),25%(径86mm)	<p>備考</p>
種別	細別	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																					
直接調査費	人件費	人	0.10	変動判定																																																																																																																																																																																					
	地質調査技師	人	0.80	作図,成果品作成																																																																																																																																																																																					
	地質調査員	人	1.00	上記直接人件費の1%																																																																																																																																																																																					
材料費	消耗品費	式	1.00	上記直接人件費の1%																																																																																																																																																																																					
種別	細別	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																					
直接調査費	人件費	人	0.01	観測指導																																																																																																																																																																																					
	地質調査技師	人	0.05	観測																																																																																																																																																																																					
	地質調査員	人	1.00	上記直接人件費の1%																																																																																																																																																																																					
	材料費	雑品	式	1.00	上記直接人件費の1%																																																																																																																																																																																				
機械損料	水位計損料	日	0.05	触針式																																																																																																																																																																																					
種別	細別	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																					
直接調査費	人件費	人	0.10	変動判定																																																																																																																																																																																					
	地質調査技師	人	0.80	作図,成果品作成																																																																																																																																																																																					
	地質調査員	人	1.00	上記直接人件費の1%																																																																																																																																																																																					
材料費	消耗品費	式	1.00	上記直接人件費の1%																																																																																																																																																																																					
種別	細別	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																					
直接調査費	人件費	人	0.07																																																																																																																																																																																						
	主任地質調査員	人	0.07																																																																																																																																																																																						
	地質調査員	人	0.07																																																																																																																																																																																						
	普通作業員	人	0.07																																																																																																																																																																																						
材料費	雑材料費	式	1.00	セメント他の費用で上記直接人件費の10%(径66mm),20%(径86mm)																																																																																																																																																																																					
種別	細別	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																					
直接調査費	人件費	人	0.30																																																																																																																																																																																						
	主任地質調査員	人	0.30																																																																																																																																																																																						
	地質調査員	人	0.30																																																																																																																																																																																						
	普通作業員	人	0.30																																																																																																																																																																																						
材料費	雑材料費	式	1.00	セメント他の費用で上記直接人件費の20%(径66mm),25%(径86mm)																																																																																																																																																																																					
種別	細別	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																					
直接調査費	人件費	人	0.07																																																																																																																																																																																						
	主任地質調査員	人	0.07																																																																																																																																																																																						
	地質調査員	人	0.07																																																																																																																																																																																						
	普通作業員	人	0.07																																																																																																																																																																																						
材料費	雑材料費	式	1.00	セメント他の費用で上記直接人件費の10%(径66mm),20%(径86mm)																																																																																																																																																																																					
種別	細別	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																					
直接調査費	人件費	人	0.30																																																																																																																																																																																						
	主任地質調査員	人	0.30																																																																																																																																																																																						
	地質調査員	人	0.30																																																																																																																																																																																						
	普通作業員	人	0.30																																																																																																																																																																																						
材料費	雑材料費	式	1.00	セメント他の費用で上記直接人件費の20%(径66mm),25%(径86mm)																																																																																																																																																																																					
	<p>参Ⅱ-30</p>	<p>参Ⅱ-30</p>																																																																																																																																																																																							